

三菱農機販売株式会社の開発供給実施計画の概要

播種状況の自動確認が可能な畑作向け播種機用後付けシードセンサー

2025年9月認定

<取組概要>

ビート・金時豆等の播種作業において、播種状況の確認を人を介さずに自動で行い、適切に播種できていない際に操縦者に音と光で知らせる、畑作向け播種機に後付け可能なシードセンサーの開発及び供給

<申請者名（代表者）>

三菱農機販売株式会社

<計画の実施期間>

2年間

<本技術による生産性向上の効果>

・「畑作」の「播種及び移植」のうち「全自動移植機等の播種又は移植作業の省力化に係る技術」により労働時間60%削減に資する技術

播種状況の自動確認が可能なシードセンサーにより播種作業に係る労働時間の削減

<活用する支援措置>

農研機構の研究開発設備等の供用等

<開発技術のイメージ>

種詰まりが発生したら操縦者に音と光で伝達



運転席側

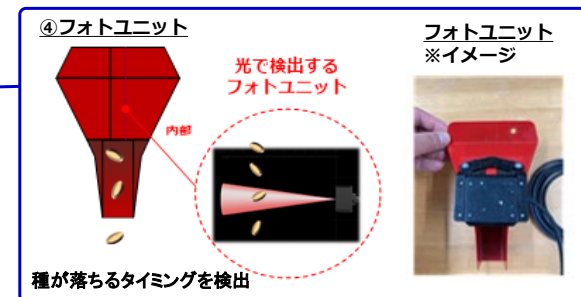


無線

播種機側



播種板の裏側に
シードセンサーを取付け



※シードセンサーは畑作向け播種機に後付け可能